

# 歯科医師臨床研修プログラム

## 到達目標と自己評価表

|      |        |
|------|--------|
| 病院名  | 公立甲賀病院 |
| 研修医名 |        |
| 研修期間 |        |

### 1、歯科医師臨床研修プログラムの目的と特徴

インフォームドコンセントに基づいた歯科医学全般にわたる基本知識を確実に修得し、それに立脚した臨床歯科医学の研修・総合病院における歯科という環境を生かし、リスク患者に対する全身管理に関する研修と同時に障害者に対する対応の研修を行う。

### 2、研修目標

以下の「1. 基本的診療能力等」及び「2. 歯科診療に関連する連携と制度の理解等」を自らが確実に実践できることを基本とし、症例検討・抄読会、術前検討会での研修も積極的に参加し、外来診療における主要歯科疾患の診察・診断・治療を独立して行えることが可能になるように経験を積む。

【評価記載A:到達目標に達した、B:目標に近い、C:努力が必要】

| 項目   | 自己評価  | 指導医評価 |
|--|-------|-------|
| 1. 基本的診療能力等  |       |       |
| (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画   |       |       |
| ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。(必修)   | A B C | A B C |
| ②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。(必修)  | A B C | A B C |
| ③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。(必修)   | A B C | A B C |
| ④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。(必修)   | A B C | A B C |
| ⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。(必修)  | A B C | A B C |
| ⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び 家族の意思決定を確認する。(必修)   | A B C | A B C |
| (2) 基本的臨床技能等   |       |       |
| ①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。(必修)   | A B C | A B C |
| ② 一般的な歯科疾患に対応するため必要な基本治療及び管理を実践する。(必修)<br>a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患<br>e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下 | A B C | A B C |
| ③基本的な応急処置を実践する。(必修)  | A B C | A B C |

|  |       |       |
|--|-------|-------|
| ④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修)                                    | A B C | A B C |
| ⑤診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示等)を作成する。(必修)                                       | A B C | A B C |
| ⑥医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(必修)  | A B C | A B C |
| (3) 患者管理 ※「基本的診療能力等」の項目のうち、選択項目から必ず1項目以上選択すること。                                |       |       |
| ①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。(必修)   | A B C | A B C |
| ②患者の医療情報等について、必要に応じて主治医と診療情報を共有する。(必修)   | A B C | A B C |
| ③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修)                                 | A B C | A B C |
| ④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修)  | A B C | A B C |
| ⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(選択)                                | A B C | A B C |
| (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供   |       |       |
| ① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修) | A B C | A B C |
| ②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修)  | A B C | A B C |
| ③在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(選択)   | A B C | A B C |
| ④障害を有する患者への対応を実践する。(選択)  | A B C | A B C |
| <b>2. 歯科診療に関連する連携と制度の理解等</b>   |       |       |
| (1) 歯科専門職との連携  |       |       |
| ① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。(必修)                                       | A B C | A B C |
| ② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。(必修)                            | A B C | A B C |
| ③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。(必修)                     | A B C | A B C |
| (2) 他職種連携、地域医療   |       |       |
| ①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。(必修)   | A B C | A B C |
| ②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。(必修)   | A B C | A B C |
| ③ 在宅療養患者や介護施設等の入所に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、その目的を理解し参加する。(選択)                    | A B C | A B C |

|  |       |       |
|--|-------|-------|
| ④ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。(選択)                                 | A B C | A B C |
| ⑤ 離島やへき地における地域医療を経験する。(選択)   | A B C | A B C |
| ⑥ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。(選択) | A B C | A B C |
| ⑦ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。(選択)  | A B C | A B C |
| (3) 地域保健   |       |       |
| ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。(必修)   | A B C | A B C |
| ② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。(必修)   | A B C | A B C |
| ③ 保健所等における地域歯科保健活動を経験する。(選択)   | A B C | A B C |
| ④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する(選択)   | A B C | A B C |
| (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解   |       |       |
| ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(必修)                          | A B C | A B C |
| ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。(必修)   | A B C | A B C |
| ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。(必修)  | A B C | A B C |

## 総合評価

指導責任者サイン

---

多面評価1 職種:

勤務態度等について

多面評価者サイン

---

多面評価2 職種:

勤務態度等について

多面評価者サイン

---